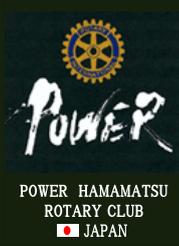


国際ロータリー第2620地区
静岡第5グループ



週報 パワー浜松ロータリークラブ

クルクルまわそうロータリー

RI 会長 ジェニファー・ジョーンズ/第 2620 地区ガバナー 浅原諒蔵 /会長 加藤ひとみ /幹事 高部光司
〒430-7733 浜松市中区板屋町 111-2 オークラクトシティホテル浜松内 Tel:053-452-0800
Email:info@power-hamamatsurc.jp http://www.power-hamamatsurc.jp
創立：2002年10月22日 認証伝達式：2003年4月29日 スポンサークラブ：浜松中RC



第939回例会6月13日(火)AM7:30~8:30

出席報告/スマイル報告

- 会場：オークラクトシティホテル浜松 3階 チェルシーの間
- 司会：原田道子 中野雄介
- 点鐘：加藤ひとみ ■週報：堀内善弘
- ロータリーソング：「奉仕の理想」
- ゲスト： 牧師、NPO 法人チェンジングライフ理事長 野田詠氏様
ウオーターバレー菊川 社会福祉施設長 絹田至様(同行者)
米山記念奨学生 ヤオ ファンボさん
- ビジター：浜松中ロータリークラブ 木村嘉代子様

会員数 69 名 (内出席免除会員 1 名)
出席数 55 名 出席率 80.88%

スマイル提出者氏名掲載
・会長、幹事 ・豊田会員
・親睦小委員会 ・金山会員
・鈴木亮会員

会長挨拶

皆様おはようございます。先ほど皆様で黙とうをいたしました、野田みよ子会員が 5 月 28 日急逝されました。既に 2 週間ほどたっています。みよちゃんが亡くなったという実感が持てず、この例会場にひょっこり現れるんじゃないかなんて思ってしまう心持ちです。本当に急で、また、防潮堤の下草刈りをしてその午後の事だったので、特に下草刈りに参加していた方々にとっては、直前に普通に会話して別れた後だったということもあって、信じられない気持ち、大いなるショックだったと思います。



チャーターメンバーとして在籍されていらっしゃる、いつも笑顔で皆様方にもよく話しかけてくださり、パワフルで面倒見の良いゴッドマザー的な方でした。本業の保険業で関係されていた方もたくさんいらっしゃったと思いますが、それ以外でも様々なことに参加して頂き、本当に八面六臂の活躍をして頂いた方でした。おそらく、メンバーの方々のそれぞれの方がそれぞれに個人的にみよちゃんに関わってこられ、その思い出をお持ちの事と思います。彼女と過ごしたこの 20 年間で忘れずに生きていくことが、何よりの供養になるのかな、と想っている今日この頃です。

話は変わりますが、5月の例会中の話の中で、車に追突されたとお話ししました。場所は、先日、坂井さんのビュー広場の投稿に出てきた、磐田の一言坂を上り切った辺りで、お昼ご飯を食べに行く途中の事でした。最近、あの通り沿いのアイカレーというカレー屋さんのビリヤニにはまっています。月1くらいの日のお昼はそこに通っています。インディカ米で、レモンを普通より多めに頼んでさわやかな感じでいただくのが好きです。また、デザートには、クルフィというインドアイスがあり、それを初めて食べたときに、恵司さんに、「この味って」て、言ったら、「松菱のアイス」と即座に返事があり、ふたりともに懐かしの松菱のアイスを思い浮かべた、というアイスがあります。食感は全然違うのですが、味が似ていて、癖になる味です。

カレー屋さん、鰻屋さん、お蕎麦屋さん、ラーメン屋さん等、皆さんも行きつけのお店をお持ちだと思います。あと半月と、期間も残り少ないですが、ビュー広場の最後の追加テーマとして「私の行きつけ」というテーマを出させていただきます。是非投稿をお願いします。

また、本日は、ゲストの野田様に薬物使用の低年齢化の問題についてお話を頂きます。何度か薬物使用のお話はございましたが、たいへん重いテーマですので、心して拝聴いたしたいと存じます。今日もよろしくお願い致します。

幹事報告

- ① ロータリー手帳の修正他の確認に関して
- ② 熱中症ほか体調急変への注意喚起、別日に華岡会員よりの卓話あり
- ③ 米山記念奨学生への奨学金授与並びにスピーチ

■米山記念奨学生 ヤオ ファンボさん…6月のスピーチ

パワー浜松ロータリークラブの皆さん、おはようございます。

私は静岡大学の博士課程 2 年のヤオ ファンボで、現在米山ロータリーの奨学生です。私は工学部の学生で、環境エネルギーシステムを専攻しています。

パワー浜松ロータリークラブの活動に参加して2ヶ月が経ちました。この2ヶ月間、定例会議で多くの素晴らしいスピーチを聞き、さまざまな業界の状況についての理解を深めました。また、5月には草刈りのボランティア活動に参加し、とても暑い中でしたが、少しでも社会に貢献できたことが嬉しかったです。

先週はクラブの歓迎会を開催していただき、大変お世話になりました。今後はサークル活動に積極的に参加し、大学での研究活動にさらに精進していききたいと思います。

今後よろしくお願ひいたします。ありがとうございました！



議事

■青少年育成部会 安間会員による紹介後、卓話がありました。

卓話：牧師、NPO 法人チェンジングライフ理事長 野田詠氏 様

- ・自身の経験から『私を代わりに刑務所にいれてください』
非行少年から更生支援者になったきっかけの一つは、母親の発した言葉であった。本も出し、各地で更生に関する話をしている。
- ・刑務所からの出所者に、社会の受け皿は案外少ない。
令和4年の犯罪白書では、刑務所を満期出所者6676人のうち、42.6%の人々が帰住先ないまま、社会に戻っていく状況がある。これが再犯リスクを高めてしまう。居場所と出番、そして、居心地の良さ（愛着）が大切。居心地が悪ければ、何をしなくてもよいということではない。一緒に探してあげること。見つかるのを見守る気長さも必要だ。
- ・自己決定を尊重する心を持つことである。「自由な不自由、不自由な自由」について。
社会的絆に関しては「愛着」「投資」「巻き込み」「信念」という絆を重視したい。（ソーシャルボンド理論）



（安間会員）野田講師は、これから通信制高校、星槎国際高校浜松学習センターでも講和をされる。